

「全鍍連」 2024年 4月号 若者から一言

東北・北海道表面処理工業組合

北青会 会長 三浦 修平 (株)東亜電化 代表取締役社長)

「北青会の活動と話題(?)の盛岡市について」



東北・北海道表面処理工業組合の青年部組織である北青会の会長を務めさせていただいております三浦修平と申します。全国鍍金工業組合連合会の皆さまには、日ごろより大変お世話になり誠にありがとうございます。

○北青会の活動について

東北・北海道表面処理工業組合は平成9年4月に東北のめっき業者が集まり、東北表面処理工業組合として発足し、平成22年5月には北海道も加わり現在に至っております。北青会は平成24年12月に若手経営幹部の会として発足され、現在会員は31名となります。

北青会の活動としては、総会、工場見学会、技術勉強会、暑気払いおよび忘年会の定例行事を行っております。工場見学会では、主に東北・北海道表面処理工業組合の会員企業の工場を見学し、技術勉強会では最新のめっき薬品動向や、経営に関する講義等を企画して、会員の皆様と切磋琢磨しております。また、懇親会や懇親ゴルフを通じて情報交換や親睦を深めております。このような活動を継続し、地域産業の振興、業界の発展向上に貢献できればと思っております。

○話題(?)の盛岡市について

昨年の情報で恐縮ですが、ニューヨーク・タイムズ紙「2023年に行くべき52カ所」に私の住んでいる「盛岡市」が選ばれました。市民からすると、なんで?という感想が一番に出してしまいましたが、中心市街地に歴史的な建物と川や公園などの自然があり、まちを歩いて楽しめるところや、コーヒー店、わんこそばのほか、書店、ジャズ喫茶などの文化が根付くまちであることが評価されたようです。これまで当たり前で、気づいてこなかったところなので、改めて盛岡市の魅力について調べてみました。是非、東北にお越しの際は、盛岡市にもお立ち寄りいただければ幸いです。

岩手県の中央に位置する、県庁所在地の盛岡市。

盛岡は四方を山に囲まれており、北西に岩手山、西に駒ヶ岳、東に早池峰山、南に南昌山や東根山と、市街地の中心からどこを見渡しても山並みが広がります。

盛岡市内には石垣が美しい盛岡城跡公園や、明治期のレトロな洋風建築が残るノスタルジックな街並みが広がります。

文豪である宮沢賢治や石川啄木が過ごした地でもあるため、文豪ゆかりの地を巡ってみるのもお勧めです。

また、南部鉄器などの洗練された伝統工芸など、日本の伝統文化にも触れられ、わんこそばや盛岡冷麺、盛岡じゃじゃ麺(盛岡三大麺)といった盛岡グルメも魅力の一つです。